



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 原子力発電のパイオニアとして ～ 信念と誇りを胸に、次の世代へ～

美浜町は、国の発展に寄与すべく、昭和37年に原子力発電所を誘致してから「原子力と共生する町・原子力発電のパイオニア」として、半世紀に亘り、安全・安心の追求はもとより、住民の理解と支援を得ながら、我が国のエネルギー政策に貢献してきました。

町では、将来に向けたまちづくりの柱として、「安全を最優先とした原子力との共生」、「再生可能エネルギーを活用したまちづくり」を掲げており、町の「総合振興計画」や「エネルギービジョン」に基づき、機動的に「エネルギーと共生するまちづくり」を進めています。



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 美浜町の総合戦略・将来ビジョン

1 第5次美浜町総合振興計画

2 第2期美浜創生総合戦略

3 美浜町エネルギービジョン



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 美浜町の総合戦略・将来ビジョン

1. まちづくり戦略の目標と施策の方向性(総合振興計画)

➤ 基本目標

■ 計画期間(平成28年度～令和7年度)



➤ 優先施策

■ 社会ニーズ、緊急性、事業効果等の観点から優先的・計画的に取り組むことが必要な施策

① 情報化社会の推進

ICT基盤を活用した新しい生活様式、新たな働き方にかかる施策を取り入れ、地域課題の解決と地域経済の発展を両立

② にぎわいゾーン整備

道の駅を核とした利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流空間を創出、IoTや交通、再エネの活用による町民の利便性向上

③ 北陸新幹線敦賀開業

地域の観光資源の魅力向上、情報発信の強化
二次交通を充実させ観光誘客を図り、新幹線開業効果を地域に波及

④ 地域力向上

災害に強い都市基盤をつくるとともに、地域力を高める取り組みを推進することで、町民が安全に安心して暮らせるまちづくり

⑤ 人口減少対策

移住定住の促進、雇用の創出と創業支援、子育て環境の整備により、若年層の人口流出抑制、UIJターンの促進



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 美浜町の総合戦略・将来ビジョン

2. 人口対策の目標と施策の方向性(創生総合戦略)

▶ 基本目標

■ 計画期間(令和3年度～令和7年度)

しごと

基本目標1 若者・女性に魅力ある“しごと”の創出

交流

基本目標2 人との新たなつながりを築く“交流”の拡大

結婚・出産・子育て

基本目標3 希望を叶える“結婚・出産・子育て”を応援

くらし

基本目標4 幸せを実感できる“くらし”の充実

▶ 施策の方向性

①若者(特に女性)の転入促進・転出抑制

雇用の創出として企業誘致を推進するとともに、若者や女性に魅力ある働く場所の確保として、サテライトオフィス誘致やテレワーク・ワーケーション等の多様な働き方ができる環境を整備

②交流人口・関係人口の拡大

地域資源を活かした観光施設整備等により、新たな「にぎわい」を創出し、交流人口の更なる拡大。町外から町を応援する「応援人口(関係人口)」を創出、町の活動に参加しやすい仕組みづくり

③子育て世代の転入促進・転出抑制、出産数増

子育てにかかる施策の充実を図り、女性が働きやすい環境づくりなど、子育て世代に選択されるまちづくりを推進

④健康寿命の延伸

町民総ぐるみの健康づくり・介護予防活動を推進し、元気な高齢者が地域の担い手となって活躍できる仕組みを構築



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 美浜町の総合戦略・将来ビジョン

3. 原子力発電に加えて、再生可能エネルギーを活用したまちづくり (エネルギービジョン) ■ 計画期間(令和3年度～令和12年度)

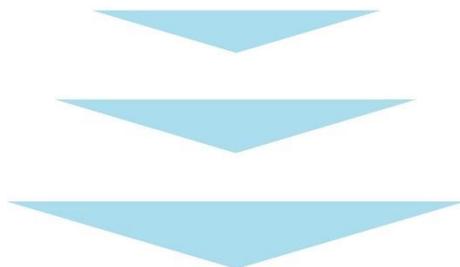
エネルギービジョンで取り組む施策	プロジェクト
<p>➤ グリーンで強靱なインフラ整備推進 再エネ等を効果的に活用しマチ、ヒト、企業の活力創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 太陽光発電や蓄電池、EV等を導入、活用した低炭素、非常用対策、プロモーション推進プロジェクト ◆ 風力発電、中小水力発電等による新産業創出プロジェクト ◆ 太陽光発電によるエネルギーの地産地消プロジェクト ◆ 美浜版MaaS構築プロジェクト ◆ 美浜町内エネルギー平準化プロジェクト
<p>➤ 地域のにぎわい創出 再エネ等を効果的に活用したヒトを呼び込む仕掛けづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 再エネ等を活用した既存観光スポット、新たな集客施設の魅力づくり推進プロジェクト ◆ 美浜版エネルギーツーリズム推進プロジェクト
<p>➤ 地域コミュニティ再興 再エネ等を活用した住民主役の地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『Made by 美浜』による美浜スマートアグリプロジェクト ◆ スマートコミュニティ拠点整備プロジェクト
<p>➤ まちづくり推進母体による地域メリット見える化 地域の地域による地域のための多彩なサービスの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ みはまエネルギー基金創出プロジェクト ◆ 地域づくりアドバイザー派遣プロジェクト ◆ 「地域共助サービス事業体」による地域のための多彩なサービスの展開プロジェクト
<p>➤ 10年後を見据えたチャレンジ 先進的エネルギー関連技術の積極的実証、誘致等による長期的地域メリットの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町の資源を活用した新燃料等製造・新技術開発研究プロジェクト
<p>➤ 30年後を見据えた人材育成 エネルギー関連の技術習得等による将来の美浜を支える人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 未来のエネルギー・環境分野を担う人材育成プロジェクト



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」

20～30年後を見据えた立地地域の産業や暮らし等の将来像

町の総合戦略・将来ビジョンの実現



立地地域の目指すべき将来像



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」
20～30年後の将来に向けた立地地域の長期戦略

原子力と共生する
地域づくり戦略

- (1) 原子力との共生に資する生活基盤の高度化・強化
- (2) 次世代原子力利用先進エリアの構築
- (3) 廃炉ビジネスエリアの構築

先駆的ゼロカーボンエリア構築戦略

- (1) エネルギー活用・実践エリアの構築
- (2) ゼロカーボン生活・実践エリアの構築

高速交通体系・ICT等先端技術
を活用した地域創生戦略



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 20～30年後の将来に向けた立地地域の長期戦略

1. 原子力と共生する地域づくり戦略

(1) 原子力との共生に資する生活基盤の高度化・強化

- 原子力防災道路の多重化・強靱化(避難道路新設、無電柱化、舞鶴若狭自動車道)
- 公共交通機関の高度化と利便性の確保(JR小浜線、乗合バス、コミュニティバス)
- 情報基盤の高度化(次世代移動通信システム、超高精細映像配信システム、難視聴エリアの解消)

(2) 次世代原子力利用先進エリアの構築

- 次世代炉の研究開発・人材育成のための学術集積拠点の整備
- 原子力新技術と人材を活かした関連産業の育成拠点の整備
- 次世代炉の関連機器など製造拠点の整備
- 次世代炉を活用した新エネルギー製造プラントの整備

(3) 廃炉ビジネスエリアの構築

- 廃炉ビジネスの確立と関連産業集積エリアの構築
- クリアランス資源再生関連産業の育成強化
- 廃炉跡地利活用計画の策定と事業実施



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」 20～30年後の将来に向けた立地地域の長期戦略

2. 先駆的ゼロカーボンエリア構築戦略

(1) エネルギー活用・実践エリアの構築

- 再生可能エネルギー(太陽光、風力等)の積極的導入
- 新エネルギー(水素、アンモニア等)発電の活用・実践プラントの整備
- 脱炭素技術(CCUS/二酸化炭素回収・利用・貯蔵)の活用・実践プラントの整備

(2) ゼロカーボン生活・実践エリアの構築

- スマートエリアの構築(スマートタウン・バーチャルパワープラント等)
- 広域MaaSの構築(eモビリティ、シェアEV等の導入)
- 観光船、社用バス、公用車、乗用車等の電動化と燃料ステーションの整備
- 次世代エネルギー環境教育ゾーンの構築
(若狭湾次世代エネルギーパーク、エネルギー環境教育体験館「きいぱす」等)



「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」
20～30年後の将来に向けた立地地域の長期戦略

3. 高速交通体系・ICT等先端技術を活用した地域創生戦略

- 高度遠隔医療や教育環境の充実強化
- スマート農業、スマート漁業による一次産業の振興
- リモートワーク、サテライトオフィスゾーン計画の策定と事業実施